

「指頭採血による超微量採血キットの基礎性能評価」への研究協力のご案内とお願い

ご関心をお持ちになりましたら、臨床検査科までご相談下さい

- 臨床検査科では、患者や医療従事者への負担の少ない指頭採血法・超微量採血法の研究を行っています。
- 現在、本研究に協力して下さる研究協力者を募集しています。
- 職員検診時に、通常の静脈採血に加えて、指頭採血を行います。

指頭採血・超微量採血とは

現行採血法では、上腕や手背に針を刺すことから、患者に苦痛とストレスを与える一方で、医療従事者自身も危険やトラブルに発展するケースが見受けられます。

また、通常の血液検査に必要な量は数十 μL 程度ですが、実際の採血量は約 5 mL（指先採血法のおよそ 25 倍の量）であり、大部分が医療産業廃棄物として廃棄されています。

本研究では、静脈採血法と指頭採血法で血液を採血し、業務効率性および測定値を比較し、指頭採血法の優位性・非劣性を検証します。

研究参加の流れ

対象者	職員検診時に採血検査を受ける 18 歳以上の本学職員
臨床検査科に 連絡・相談	本研究に関心をもたれたら，医学部臨床検査科（研究責任者：酒井康弘）までご連絡ください。 連絡先：9934（臨床検査科医局） メールアドレス：ya-sakai@fujita-hu.ac.jp
研究説明会 へのご参加と 同意の確認	本研究に関心をもたれた方を対象に，研究説明会を行います。研究責任者より，日時・場所についてご案内致します（説明会へのご参加が難しい場合は，個別にご説明致します）。 説明を十分に理解しご納得頂いた場合には，研究への参加の同意を確認します。
指頭採血 の実施	職員検診時に静脈採血に加えて指頭採血も行います。研究説明会で研究協力に同意されても，実際に採血を行う段階で同意を撤回して頂くことも可能です（これによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることは一切ありません）。

2023 年 4 月 3 日作成